

# 食流機構

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構  
<http://www.ofsi.or.jp/>

2021

5 月号

No.305

# OFSI

## I N D E X

- 巻 頭 言 ②
- 「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン 加工食品物流編」のご紹介 その1 ③
- 消費者庁の新たな加工食品の原料原産地表示制度等に係る表示実態調査結果について ④
- 東京2020大会輸送に関わる交通規制等について（お知らせ）  
• ズビ工産地情報サイト開設 ⑤
- 第8回 食品産業もったいない大賞  
農林水産省食料産業局長賞受賞者のご紹介<1> ⑥
- 第30回 優良経営食料品小売店等表彰事業  
農林水産大臣賞受賞店のご紹介<1> ⑦
- 農林水産統計情報 ⑧



## 巻頭言

4月13日、日本政府は、福島第一原発の事故処理汚染水の海洋放出を2年後の2023年に行う旨の決定をした。福島県の漁業者をはじめ様々な関係者の反対ないし疑念に対し、十分な納得を得ないまま、いわば見切り発車をしたといえよう。

政府は、これからの2年間に汚染水に含まれる有害物質のうち除去できるものは除去し、除去が難しいトリチウムについては政府の基準の40分の一に希釈し、汚染水を安全なものにして放出するという。また、原発を稼働させている諸外国もトリチウムを含む原発の冷却水（原発事故による汚染水ではない）を海洋に放出しており、IAEA（国際原子力機関）もそれを許容しているという。さらに、風評被害の防止対策を講じ、もし被害が生ずる場合には、東京電力に賠償させるということで、漁業者をはじめ関係者の理解を求めようとしている。

原発事故による汚染水にどのような有害物質が含まれているのか、それは安全なまでに除去できるのか、あるいはβ放射線を発するというトリチウムほどの程度まで薄めれば人体や生物に無害になるのかなどについては、様々な立場の専門家が異なる意見を述べており、門外漢の筆者がその正否を判断することはできないが、このような汚染水を海洋に放出すれば、政府や東電がいかに安全だと力説しても、風評被害が生ずることは容易に想像がつく。政府や東電は、風評対策としてその安全性について国民の納得を得るための様々な対策をこれから行うであろうが、国民の間に不安がある限り風評はなくならないし、その結果その海域の漁業関係者や観光業者などが経済的にあるいは精神的にも被害を受けることは避けられないと思う。

政府はその風評による損害について東電に賠償させるという。筆者は、例えば船舶の座礁により重油が流失し海洋が汚染されたことで風評被害があった場合、行政や企業が風評被害対策として見舞金や一時金を支給した例は承知しているが、法的な意味での損害賠償を行った例については、寡聞にして知らない。

風評の影響をどのように評価するかを魚類について考えると、その海域で取れた魚類についてすべて全損とするならともかく、風評により生じた価値の減損部分を把握するためには、まずその魚類の取引価格が風評のない場合の価格に比べてどのくらい差があるのか明確にする必要がある。しかし、天然物の魚の価格は、漁獲される時期や海域により、また大きさや鮮度により、さらに水揚げ港の産地市場により必ずしも同じではなく、損害の額を正確に算定することは大変難しいと思う。それを誰がどのような方法で調査・算定するのか、東電に賠償させるというが東電にその能力があるのかなど問題が多々あるように思う。

政府がどのようにして東電に賠償責任を負わせることができるかはこれからの問題であるが、原発事故の当事者としての対応に多くの批判のある東電に賠償をさせるということ自体が、筆者から見れば、汚染水の安全性を確保して海洋放出を行うという今回のスキーム全体の信頼性を損なう恐れがあるように思える。また、東電がたとえ風評被害の賠償を実行できたとしても、それを長期にわたる汚染水放出の期間中継続することはできないだろうから、風評被害が短期間に無くなれば良いが、もし風評被害が長く続くようであれば、汚染水放出の影響を受ける海域の漁業は将来継続困難になり、その海域からの水産物の供給が減少ないしは消滅する恐れがある。

漁業関係者はもちろん水産物流通に携わる食品流通業関係者としても今後の推移を大きな関心を持って見守るべきであろう。

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構

会長 馬場 久萬男

# 「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン 加工食品物流編」 (国土交通省・経済産業省・農林水産省・厚生労働省)のご紹介 その1

近年の働き方改革の一環として、荷待ち時間の件数が特に多い輸送分野の一つとして、関係省庁が「加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」を開催し、課題の洗い出しや、実証実験、実態調査等を踏まえた解決方策の検討を行った成果として、令和2年4月24日に「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン 加工食品物流編」を取りまとめています。

(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001346091.pdf>)

その後、同懇談会は、令和2年9月以降、飲料・酒物流分野について、現状や課題の洗い出し、改善のための実証実験等を通じて、加工食品物流ガイドラインの改定案について、更なる検討を進めているところです。

今月号から、現行の当該ガイドラインの「課題に対する解決の方向性・具体的な解決方策」に示されている取り組み事例を順次、ご紹介してみます。

## 受発注条件の見直し「リードタイムの延長」 — 4日目販売の促進により余裕を持った運行を実現 —

### 1 実施者の概要

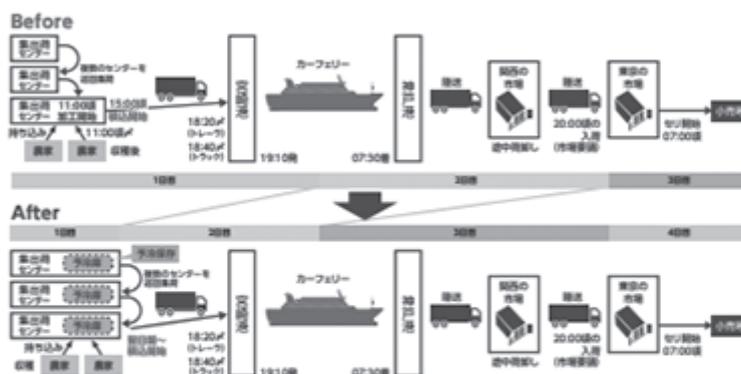
- ・発荷主(農業団体)、着荷主(卸売業者)、運送事業者
- ・荷種:青果物

### 2 背景・課題

- ・フェリー積み込みまでのリードタイムが短く、遅延が発生した場合には陸路輸送せざるを得ないため、改善基準告示の遵守が困難な状況となる。
- ・着側の卸市場には順番待ちのルールが明確でなかったり、着荷しているのに荷受け担当が不在のためドライバー自らが荷役しなければならないなど、事業者によって対応に差がある。

### 3 事業内容

- ・収穫当日は出荷せず予冷庫に入れ、翌日に従前よりも早い時間帯から積み込みを開始する。
- ・これにより3日目販売が基本であった出荷スケジュールを4日目販売のスケジュールに変える。



### 4 結果

- ・収穫当日積みを翌日積みとすることで、時間的に余裕を持って集荷・積み込みを行うことが可能となった。
- ・収穫から販売までのリードタイムは3日から4日にのびたものの、収穫当日は予冷庫にて保管することにより3日目販売と変わらぬ鮮度が保持できた。
- ・フェリーに乗り遅れて全行程を走行せざるを得ないリスクが低減した。

### 5 荷主企業・運送事業者のメリット

- ・余裕を持った出荷スケジュールでも鮮度を保持可能であることが確認できた。
- ・運送事業者が改善基準告示の遵守が困難な運行を行わざるを得なくなるリスクが低減した。
- ・荷主と運送事業者との間で忌憚のない意見交換ができるようになった。

### 6 結果に結びついたポイント/今後の展開

- ・荷主企業と運送事業者で現場の問題点を確認した。
- ・荷主企業、運送事業者が一同に介し、継続的な改善を検討した。
- ・荷主企業の協力により、出荷作業時間の短縮に取り組んだ。

# 消費者庁の新たな加工食品の原料原産地表示 制度等に係る表示実態調査結果について

平成 29 年 9 月 1 日に食品表示基準（平成 27 年内閣府令第 10 号）の一部が改正され、平成 29 年（2017 年）9 月 1 日から、全ての加工食品（輸入品を除く）の重量割合が最も高い原材料に対して、その原産地の表示が義務付けられています。経過措置期間（準備期間）は令和 4 年 3 月 31 日まで設けられています。

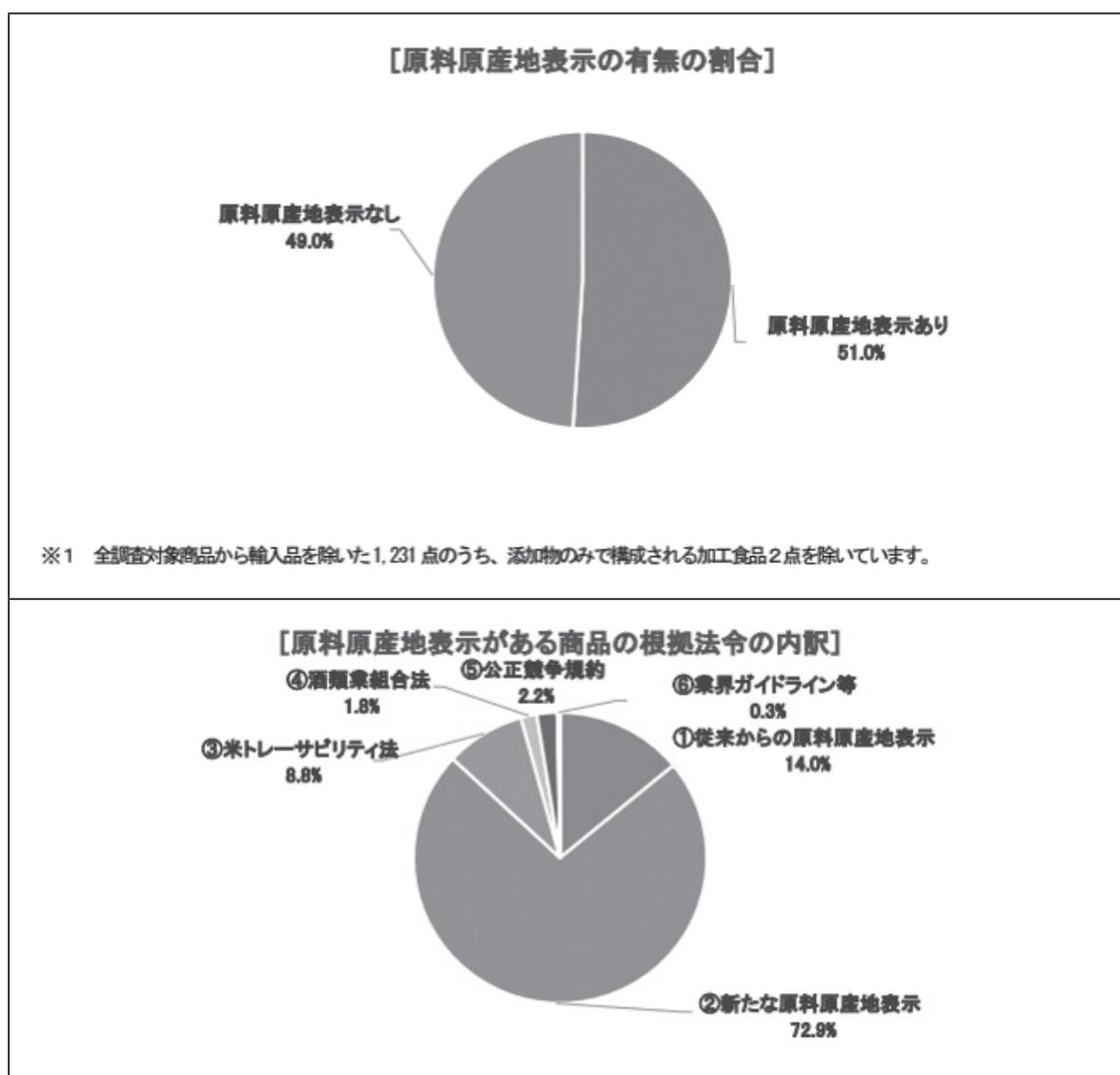
消費者庁が横浜市の商品スーパーの御協力を得て令和 2 年 7 月現在の実態調査結果として、

- ①原料原産地表示の有無の割合
- ②原料原産地表示がある商品の根拠法令等
- ③新たな原料原産地表示がある商品の表示方法等

を令和 3 年 3 月 31 日に公表していますので御紹介いたします。

（詳細は下記の HP アドレスを御覧ください。）。

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/information/research/2020/assets/food\\_labeling\\_cms202\\_210331\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/research/2020/assets/food_labeling_cms202_210331_01.pdf)



<問合せ先> 消費者庁 食品表示企画課 担当：金子、松原  
電話 03-3507-9223(直通) FAX 03-3507-9292

# 東京2020大会輸送に関わる交通規制等について (お知らせ)

東京都オリンピック・パラリンピック大会の7月23日スタートを睨んで、東京都準備局大会施設部が4月14日に開催したオンライン説明会の概要の一部をご紹介します。

4月19日から東京2020大会時の個々の事業者への影響等についての情報提供と実情に合った取組実施に向けた無料相談の窓口が設けられました。

専用予約ダイヤル 0120-502-528(2021年4月19日開設)  
予約フォーム <https://2020tdm.tokyo/consultation/index.php>



○大会の簡素化、大会関係者の人数削減やサービスの見直しはありますが、交通対策を検討する上での前提に大きな変更はないという考え方の下、交通規制等のマネジメントは2020年と同様の形(都心部(重点取組地区)について大会前交通量の30%減を目指すなど)で展開されます。

○様々な交通規制が実施されるのは、オリンピック期間前後(7月19日～8月9日)、パラリンピック期間前後(8月24日～9月5日)です。

○関係者輸送ルート(選手等の大会関係者を輸送)と観客輸送ルート(観客・大会スタッフを輸送)が設定されていますが、専用レーン・優先レーン等の交通規制が敷かれるのは、関係者輸送ルートのうちの大会ルート(選手村と大会会場を結ぶルート)です。

注)大会ルートのマップは下記ご覧ください。

[https://2020tdm.tokyo/siryou\\_pdf/setumei\\_20210414.pdf](https://2020tdm.tokyo/siryou_pdf/setumei_20210414.pdf)

○道路の交通規制としては以下のものが設定されます。

- ・高速道路で実施される交通規制(夜間割引と昼間の料金上乘せ、料金所流入調整など)
- ・一般道路で実施される交通規制(専用レーンや優先レーンの設定など)

注)詳細は下記ご覧ください。

[https://2020tdm.tokyo/siryou\\_pdf/setumei\\_20210414.pdf](https://2020tdm.tokyo/siryou_pdf/setumei_20210414.pdf)

## ジビエ産地情報サイト開設



ジビエに興味がある、ジビエをメニューに加えたい、とお考えの外食・中食事業者の皆様に向けて、全国各地のジビエ産地の情報を紹介するサイトを当機構ホームページ内に開設しました。

令和2年度農林水産省補助事業 外食・中食等における国産食材活用促進事業にてFOODEX JAPAN2021に出展した企業も掲載しています。是非ご活用下さい。

<http://www.ofsi.or.jp/domestic-food-supply/gibier-info>(機構HP内上記バナー)  
担当:業務部 田中 TEL:03-5809-2176 FAX:03-5809-2183

## 第8回 食品産業もったいない大賞 農林水産省食料産業局長賞受賞者のご紹介 <1>

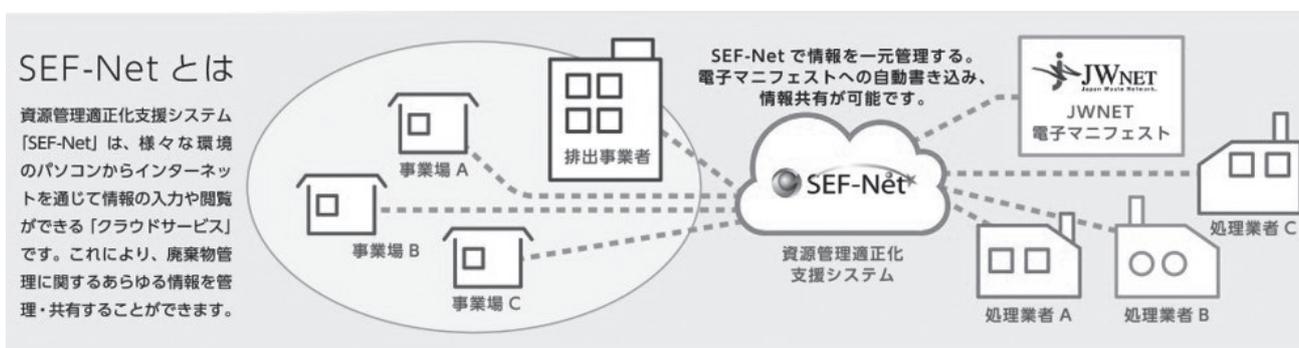
### 公益財団法人 Save Earth Foundation (東京都大田区)

<https://save-earth.or.jp/archives/7013>

全国初！外食事業者5社連携による飼料化の共同食品リサイクルループ構築  
食のサーキュラーエコノミーを目指して

●外食産業における再生利用等実施率の向上と地域循環共生圏の創出を目的に、環境マネジメントに高い水準で取り組む外食事業者5社が協働して、各店舗から発生する調理くずや食べ残しなど、これまで焼却処分されていた食品循環資源を飼料化して再生利用するリサイクルループを構築。

●事務局として外食事業者、収集運搬業者、再生利用事業者、配合飼料メーカー、生産者間のパートナーシップを構築し、外食事業者が商品として使用しやすい鶏卵として買い戻すリサイクルループを実現、全国初となる複数の外食事業者による飼料化の再生利用事業計画の認定を取得した。



### ミチナル株式会社 (岐阜県高山市)

<https://www.michinaru.com/>

農家さんのもったいないの気持ちを繋いで廃棄ほうれん草を地域の宝へ

●ほうれん草の外葉の有効活用を模索した結果、ボイル等の加工により味が濃くおいしいことを発見。

●高山市内 130 軒と岐阜市内 68 軒の農家から原料となるほうれん草の外葉を買い取る。専用のコンテナで回収された外葉は回転装置で異物を除去した後、洗浄、ボイルの工程を経て IQF (バラ凍結) 冷凍される。更に X 線検査機等で異常がないか確認して出荷。

●他産地の差別化を目指し、岐阜県食品科学研究所とルテイン含有率が高いほうれん草の特性を研究し、特定産地の外葉だけで製造した機能性表示食品「ルテイン♡ルンルン♪ほうれん草」を 2020 年 10 月から販売開始。



掲載内容は「第8回食品産業もったいない大賞表彰事例集」より一部抜粋したものです。  
詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.ofsi.or.jp/file/mottainai/no8/no8jireisyu.pdf>

## 第30回 優良経営食料品小売店等表彰事業 農林水産大臣賞受賞店のご紹介 <1>

### 有限会社湖月庵 - 館最中本舗 湖月庵 -

菓子小売店：茨城県筑西市 <https://www.kogetsuan.com/>

#### 「古民具へのこだわりと素材へのこだわりと鉄道の聖地へのこだわり」

##### 古材と小道具を活かした古民家風な店構え

先代が集めた古民具を活用した店内ディスプレイと商品陳列を行う。接客や休憩に利用されるお客様用の木製一人掛け椅子は大きな臼をくり抜いたもので、先代が椅子に加工したものだ。

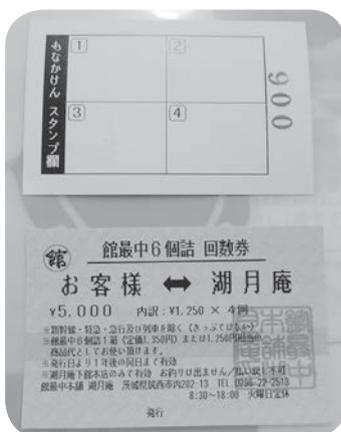
新型コロナへの感染予防対策として様々な非接触に取り組んでいるが、現金客への非接触を実現しているのがSL「ディスタンス号」である。ガラスショーケースの上にレールを敷き、鉄道模型の蒸気機関車を走らせる。車輻の屋根には受け皿が貼り付けてあり、お客様は代金を受け皿に載せて店員に送り出す。店員はお釣りと領収書を受け皿に載せてお客様の元に機関車を走らせる。このアイデアは6才になるご子息の考案である。



##### JR 東日本と連携して生み出している茨城県素材の産品

JR 東日本のプロジェクトにおいて、茨城県の食材を原材料とする商品を共同開発した。

- ①きぬのまゆ玉贅沢抹茶（さしま茶 100%）②福は栗（笠間栗）



##### 鉄道ファンを楽しませる『最中回数券』

鉄道ファンの聖地となっている下館駅を応援するために考案したのが「館最中6個詰回数券」である。色もデザインも大きさも、JR 在来線特急券に似せて作成されており、一見すると見間違える程の出来栄である。

発行する時は日付スタンプを押す。領収替わりにハサミを入れる。ハサミはネットショップで中古品を調達した。回数券は1枚5,000円で販売し、館最中6個詰（定価 1,350円）であれば4回購入できる。

それ以外の商品が欲しいときは1回1,250円の商品券として利用できる。商品券ではあるが自分用に購入するお客様が多い。

##### 地元の子供達にお昼を提供する『子鉄ランチマップ』

下館には週末のSL 運行だけではなく、真岡に足を伸ばせばSLの展示場である「SL キューロク館」がある。下館から出掛けた子供達が昼に戻ってきた時に困っているのが昼食である。鉄道好きの子供達「子鉄」が下館駅周辺で昼食を楽しむことが出来るよう、JR 東日本下館駅と地域おこし協力隊とともに作成したのが「子鉄ランチマップ」である。

下館駅周辺の飲食店に「子鉄」向けのオリジナルメニューを作ってもらい、塗り絵欄もある子鉄とその家族に楽しんでもらうマップである。現在（※令和3年2月時点）15店舗が参加している。

##### <筑西市ホームページより「子鉄ランチマップ」

[https://www.city.chikusei.lg.jp/data/doc/1596501468\\_doc\\_41\\_0.pdf](https://www.city.chikusei.lg.jp/data/doc/1596501468_doc_41_0.pdf)

掲載内容は「令和2年度第30回優良経営食料品等表彰事業」より一部抜粋したものです。詳細はこちらをご覧ください。 [http://www.ofsi.or.jp/file/mng\\_dept/concours/R2gaiyou.pdf](http://www.ofsi.or.jp/file/mng_dept/concours/R2gaiyou.pdf)

# 農林水産統計情報

## 令和3年4月～令和4年3月までの公表予定より

([https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index\\_nenkan\\_r3-2.pdf](https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index_nenkan_r3-2.pdf))

農林水産省（大臣官房統計部及び各局庁等）が公表している農林水産統計について、5月に掲載が予定されている生産・流通に関する資料名を紹介します。

資料名	収録内容	担当課（室）
大臣官房統計部		
・令和3年集落営農実態調査結果（令和3年2月1日現在）	集落営農数、集落営農の構成農家数、組織形態等	センサス統計室
・令和2年産みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量	全国・都道府県別の結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量	生産流通消費統計課
・令和2年産りんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量	全国・都道府県別の結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量	生産流通消費統計課
・令和2年漁業・養殖業生産統計	海面漁業及び養殖業の全国・都道府県別の漁業種別・魚種別生産量並びに内水面漁業及び養殖業の全国・都道府県別の魚種別生産量	生産流通消費統計課
・令和2年食鳥流通統計調査結果	全国の食鳥の処理羽数及び処理重量	消費統計室
・令和2年産地水産物用途別出荷量	品目別用途別出荷量	消費統計室

### < OFSI お届けについてご連絡 >

宛先名、住所、メール配信先のご変更、郵送からメール配信への切り替えご希望などがございましたら、下記までご一報下さい。

### 編集後記

▶ 私事です最近自分のTwitter アカウントでブックマークが増えたなと思ったものがあります。それは花の写真を掲載したツイート。今年も昨年と同様「自粛」が求められた花の季節となり、外出は諦めていたけれど、無意識に手のひらの画面の中でお花見を求めているようです。とは言いつつも、見ると余計行きたくなくなってしまう

うのが辛いところなのですが。

▶ 今月は令和2年度に機構が主催した2つの表彰事業について掲載をしています。「もったいない」から生まれた取組や、コロナ禍に負けぬ商いの工夫を順次ご紹介していきます。(A)